

令和3年度全国高等学校定時制通信制体育大会 第31回バスケットボール大会 新型コロナウイルス感染対策ガイドライン第2版

新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない現状が続いているため、先行きの見通せない中での計画となります。本事務局としては、第31回大会の開催に向けて、以下のガイドラインを定めました。

なお、このガイドラインは「JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン（手引き）第3版（2021年1月20日作成）」、「令和3年度全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針（令和2年12月14日公共財団法人全国高等学校体育連盟）」および「中学生・高校生等を対象とした全国大会・コンクール等における感染拡大予防ガイドライン（令和3年6月2日スポーツ庁文化庁）」をもとに作成しております。

1 来場者対応

- 第31回大会は無観客試合にする。入場は選手、コーチ、引率教員、審判、大会関係者のみに限定する。**各都道府県高体連関係者、出場校関係者、保護者、OB・OG、友人等の応援を目的とした入場はできない。**
- 会場に入場する際に、手指消毒と検温を実施する。
- 検温結果が37.5℃以上の者は、別室で再度検温をする。再検温の結果が37.5℃未満の場合は、入場を許可する。再検温の結果が37.5℃以上の場合は会場責任者の判断で入場を断ることがある。いずれの場合も、再検温の結果が出るまで、選手、コーチ、引率教員等も会場に入ることができない。**また、再検温の結果が37.5℃以上の場合は、本ガイドライン「6 会場責任者が参加者に出場辞退の勧告や出場資格の取り消しの指示を検討する場合」の規定により、会場責任者は出場資格の取り消しを行う。
- 退場は自由とするが、再入場の際は、再度検温と手指消毒を行う。
- 会場内での食事は極力避ける。会場内で食事をする際は定められた場所で、距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- ゴミ（飲料のボトルや、消毒に使用したティッシュ、使用済みマスク等）は原則持ちかえる。
- 飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に捨てない。
- 会場内ではマスクを着用する。
- こまめなうがい手洗いをする。

○会場に入場する全ての人（選手・引率教員・審判員・運営役員等）は、大会直近2週間の体調管理および検温を行い、指定の健康チェックシートに記録する。また、試合当日に健康チェックシートを大会事務局に提出する。健康チェックシートは試合終了後返却し、勝利チームは次回の試合日に再度提出する。

なお、この期間に、以下の症状や状況となった場合は、会場への入場及び大会参加を認めない。

1. 37.5℃以上の発熱が1日でも認められた。
2. 健康チェック欄への記入がない。
3. 濃厚接触者として保健所の指示を受けている。

※ただし、1～3の対象者は、陰性証明書の提出により、出場や入場を許可することとする。

2 会場の感染対策

- 会場内の換気を行う。
- 入場者の待機場所を指定する。
- 試合終了毎にベンチ、TO席の消毒を行う。
- その他、多くの人々が頻繁に触れる箇所や物品（競技用品を含む）を定期的に消毒する。

3 出場校

- 出場校は、第1試合は試合開始50分前、第2試合以降は前試合の試合開始時間よりも早く会場に入場することはできない。
- 試合前は、指定された場所で待機する。
- 自チームの試合終了後は、速やかに会場を退出する。
- スカウティング（視察）のため、自チームの試合外の時間に来場することや、会場に残る行為を禁止する。
- 試合中の注意点
 - ・試合前、試合後に相手チーム、審判との握手は実施しない。
 - ・両チームベンチへの挨拶を実施しない。
 - ・円陣はしない。
 - ・倒れた選手に手を貸さない。
 - ・ハイタッチ、抱擁を行わない。
 - ・咳エチケットを守る。
 - ・ボトルを共有しない。
 - ・タオルを共有しない。
 - ・コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮する。

- ・ベンチではマスクを着用し、会話を控える。
- ・その他、感染リスクが高いと考えられる行為をしない。
- 「6 会場責任者が参加者に出場辞退の勧告や出場資格の取り消しの指示を検討する場合」に該当する場合は、ただちに会場責任者に報告をする。
- 試合終了 48 時間以内に発熱等の症状が出た場合は、敗退したチームも含めて、会場責任者に報告をする。
- 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、会場責任者に報告をする。

4 式典について

- 開会式は、中止とする。
- 閉会式および表彰式は、前回大会と同様に、男女それぞれ上位 4 チームずつ計 8 チームの出席とする。選手は全員出席できる。その際、3つの密（密閉・密集・密接）に十分注意して式を進行する。

5 大会中止を検討する場合

- 関係する自治体や主催者が、感染拡大が懸念されると判断した場合。
- 大会参加チーム数の 10%以上の辞退チームがあった場合。

6 会場責任者が参加者に出場辞退の勧告や出場資格の取り消しの指示を検討する場合

- 大会までに陽性者が回復しない場合。
- 濃厚接触者の隔離期間（保健所等から指定された期間）が解除されない場合。
- 出場チームに感染疑いが生じて安全性の判明が間に合わない場合。
- 大会中に出場チーム（対戦相手チームの場合もある）に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者や感染疑いの者が生じた場合。
- 大会中に出場チームに 37.5 度以上の発熱者が生じた場合。
- 勝利チームが対戦した相手（敗退したチーム）に感染疑いが発覚した場合。

7 ガイドラインの拘束力

- 大会関係者は、ガイドラインの記載事項を遵守しなければならない。